

第3学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
教科書	美術2・3上、美術2・3下（日本文教出版）
副教材	美術資料（秀学社）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチ ・ワークシート ・授業の様子や発言内容 ・作品 ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチ ・ワークシート ・授業の様子や発言内容 ・作品 ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチ ・ワークシート ・授業の様子や発言内容 ・作品

3 学習についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 ・主題を考え、1・2年生までに学習したことを活用して、制作に取り組みましょう。 ・主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 ・作品について感じたことを積極的に話し合いましょう。 ・鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
--------	--

- ・「ものを見る目」「ものごとを感じる心」を育てましょう。美術館や博物館などにある美術作品はもちろんですが、テレビ、雑誌、お店の看板やポスター、本の表紙や挿絵なども注意深く見てみましょう。また、身近な自然（草花、空、川など）にも心を傾けてみましょう。世の中にはたくさんの「いろ」と「かたち」があふれています。作品づくりのヒントを見逃さないよう、アンテナを高く持っててください。
- ・定期テスト前には、鉛筆デッサンの練習をしましょう。デッサンは、描けば描くほど上達します。あきらめずに取り組みましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学 期	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美を探し求めて ・夢をかたちにするデザイン <p>○今を生きる私へ（絵画）</p>	<p>3年生の美術科での学習内容を知り、3年間のまとめとしてどのようなものを制作していくか、これからの学習の見通しをもつ。</p> <p>自分の心の中を見つめ、自分らしさや個性から主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、色鉛筆の特性を生かし意図に応じて創意工夫して表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己と向き合い、自分の生き方と照らし合わせながら、自分の気持ちや性格、思い出や夢などについて考え、主題を生み出す。 ・主題を基に構図、色彩などを試行錯誤し、想像的な構成を工夫して構想を練る。 ・色鉛筆の特性を生かし、意図に応じて創意工夫して表す。 ・材料や用具の表現方法を工夫して表現する。 ・自分や友達作品を鑑賞し、その心情や表現の意図と表現の工夫などについて考えを深める。
2 学 期	<p>○自分へ贈る卒業記念品 （デザイン・工芸）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木でつくる 	<p>使う場面や飾る場所、思いなどから主題を生み出し、形や色彩、材料の効果を考え、意図に応じて自分の表現方法を追求して見通しを持ってデザインする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの美術の授業で身に付けたことを生かして、使う場面や飾る場所を考えて主題を生み出す。 ・造形的な美しさなどを考えて構想を練る。 ・材料や用具の特性を生かしながら、見通しを持って創造的に表す。
3 学 期		